



1st community わたらせ “だより”

広報紙第54号

発行 古河第一地区コミュニティわたらせ
広報部会
2026.3.1
問い合わせ 0280-22-4948

「観音寺自治会餅つき大会」



去る2月8日（日）、観音寺町恒例の三世代合同の餅つき大会が開催されました。自治会員・老人会・子供会・消防団等約120名の参加者が交流を深めました。

「保育園児との交流会」

去る2月12日（木）、古河第一小学校では、令和8年入学予定の古河保育園・浅井保育園の園児を招待し、交流会を開催しました。園児たちは、4月からの学校生活に胸を膨らませ交流会を楽しみました。



『書道の会「行書の学習」を開催』

書道の会では下記の内容で書道教室を開催いたします。

開催場所 コミュニティセンター出城

開催日時 第1回 令和8年 4月18日・25日・5月16日・23日

第2回 6月6日・13日・20日・27日

いずれも土曜日 午後2時～4時

受講料、2,000円（教材費込） 筆（大筆・小筆）・墨・硯・半紙は各自用意

講師 橋本 功 元高等学校芸術科書道教諭

問合せ 書道の会 市川 進 tej 090-6038-9068



古河偉人列伝③

～古河にいた！関東の戦国武将～

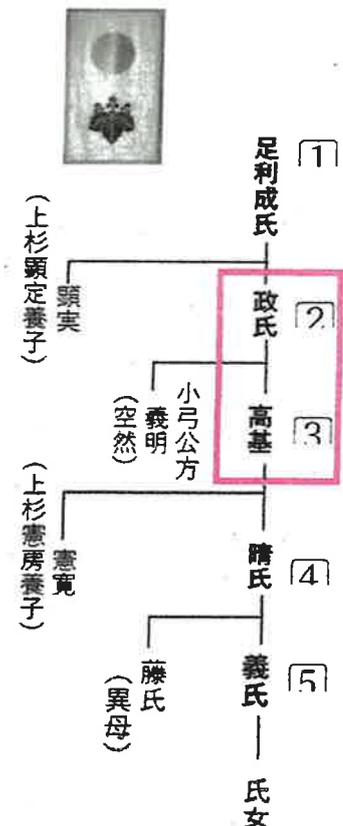
～前回のおさらい～

鎌倉公方であった足利成氏は、室町幕府との長い長い争いの中で、拠点を古河に移し、“古河公方”となりました。以後五代にわたり古河公方家は続いていきます。

今月号では、2代目政氏と3代目高基の様子をのぞいてみましょう。

上杉氏の内乱に巻き込まれる政氏 ちょうきょう（長享の大乱）

成氏の跡を継ぎ、2代目古河公方となった足利政氏。名前の「政」は、あしかがよしまさ時の室町將軍で銀閣を建てたことで有名な「足利義政」からいただき



古河公方

ました。

そんな彼を待っていたのは、古河公方の補佐役、関東管領かんとうかんれいを務めている上杉氏の内乱でした。有名な応仁の乱から20年あまりたったころです。

この争いは関東管領を務めている「山内上杉氏」やまのうちとその分家である「扇谷」おうぎがやつ上杉氏の間で行われました。最初は、扇谷上杉氏の味方をしていた政氏でしたが、戦況が変わるにつれて、山内上杉氏の味方になるなど、とても複雑な様相をみせます。“古河公方”という存在が権威の象徴として考えられており、お互いに政氏を担ぎあげ、「俺たちのバックには公方様がいるんだぞ！」という想いがあったのではないのでしょうか。

結果として山内上杉氏が勝利をおさめました。

この頃、関東の戦国時代を象徴する人物が勢力を強めていました。その人物は伊勢宗瑞いせそうずい、後の北条早雲ほうじょうそう'unです。長享の乱において、宗瑞は扇谷上杉側として参戦し、関東に進出してきます。宗瑞から始まる北条一族と古河公方は今後切っては切り離せない関係となっていきます。

今度は息子と仲違い えいしょう〈永正の乱〉

上杉氏の内乱が終わり一息ついた政氏を待ち受けていたのは、息子三代公方高基の反抗でした。政氏、休む暇もありません。

この親子の争いは、高基が宇都宮（奥さんの実家）に拠点を移したことに始まり計三回にわたって繰り広げられ、関東管領の上杉氏や周辺の武将たちを巻き込んだ大規模なものになっていきます。

最初は思うように仲間が集まらず、負けが続いた高基でしたが、争いの中でどんどん成長していき、勢力を強めていきました。結果、政氏は古河城を追い出されてしまい、最後は久喜市にある甘棠院かんとういんで亡くなりました。

政氏と高基は最終的に和解をし、古河公方家の内紛は落ち着くかと思いきや、なんだか高基とその兄弟たちの仲がギスギス…。公方家内の争いはまだまだ続きそうです。内紛続きの古河公方一家、どうなることやら。

来月号はお休みをいただくので、気になる続きは次々回